



資料No.1

## これまでの検討内容

### 第1回

- ・新しい釜石市総合計画策定概要について
- ・次期釜石市総合計画策定に係るアンケート調査分析結果について

### 第2回

- ・釜石市の重点施策について
- ・各グループでK P Tによる現状分析

### 第3回

- ・K P Tシートの仕上げ
- ・基本目標の検討

### 第4回

- ・基本目標の取りまとめ
- ・基本目標に向けた戦略及び実行者についての検討



# KPTシート集計

各部会から出された付箋の数

	保健福祉	教育文化	産業雇用	生活環境	危機対応	地域づくり
Try/Keep	63	53	34	49	56	39
Problem	50	24	28	22	20	19
Total	113	77	62	71	76	58

⇒ これまで会全体で使用した付箋の数 約 **720** 枚

(キーワード、基本目標で使用したものを含む)

# KPTシート集計

各部会から出された付箋のエッセンス

## ●集計方法 ステップ1

各部会が出された付箋を、複数のエッセンスに分解し集計を行いました。

例

地域の集いの場づくり ⇒ 地域 集い 場 つくり

震災以後つながった人たちとの交流 ⇒ つながり 交流

※各ご意見に多様なニュアンスが含まれており、そのニュアンス全てを抽出しきれていないことをご了承ください。

## ●集計方法 ステップ2

各エッセンスを集計し、各部会で検討されている共通した項目を洗い出しました。

※エッセンスに出されていないからその部会で検討していないというものではありません。

# KPTシート集計

各部会から出された付箋のエッセンス

エッセンス	個数	出されている部会	付箋の内容
 防災	36	教×生×危	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災教育の継続</li><li>・水攻めに弱い</li><li>・防災意識の低さと避難訓練の参加率の低さ</li></ul>
 子ども	34	保×教×生×危	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域で子どもを見守る環境づくり</li><li>・子どもたちが夢をもてるような取り組み</li><li>・子ども～お年寄りまで集まれる場をつくる</li></ul>
地域	33	 保×教×産× 生×危×地	<ul style="list-style-type: none"><li>・世代を超えた地域活動</li><li>・地域内外の大人と子どものふれあいの場</li><li>・学校と地域の連携</li></ul>
教育	25	保×教×産×危	<ul style="list-style-type: none"><li>・釜石で同じビジョンをもった教育をする</li><li>・地域の産業を知るための教育</li><li>・防災教育</li></ul>
情報	22	 保×教×産×生×危	<ul style="list-style-type: none"><li>・子育て情報サイト</li><li>・働く人を取り上げる媒体</li><li>・要介助者の地域での把握</li></ul>

# KPTシート集計

各部会から出された付箋のエッセンス

エッセンス	個数	出されている部会	付箋の内容
意識	21	保×産×危×地	<ul style="list-style-type: none"><li>・バリアフリー（ハードとハード）</li><li>・危機意識の地域格差</li></ul>
人材	20	保×教×産	<ul style="list-style-type: none"><li>・釜石全体で人財育成</li><li>・人材確保</li></ul>
居場所	17	保×教×産	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの居場所</li><li>・多様な居場所づくり</li></ul>
交通	17	保×生	<ul style="list-style-type: none"><li>・免許返納による孤立化（交通難民）</li><li>・習い事、学童などへの送迎バス・タクシー</li></ul>
高齢者	16	保×生×危	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者の健康づくりの場</li><li>・年配の方のコミュニティ</li></ul>
避難訓練	16	保×危×地	<ul style="list-style-type: none"><li>・全市民が避難訓練に参加する</li><li>・避難訓練の定期的実施</li></ul>
健康	14	保×生	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康寿命を延ばす</li><li>・子ども期からの健康のための生活習慣づくり</li></ul>
つながり	12	 保×教×産×危×地	<ul style="list-style-type: none"><li>・つながりが出来る仕組みづくり</li><li>・経営者同士のネットワーク</li></ul>

# 保健福祉部会

## Try / Keep

医療不安

健康な生活

高齢者

子育て

安心安全

居場所

社会生活

- ・ 医大生の研修の受け入れ
- ・ 薬剤師の活用（訪問など）
- ・ 公民館対抗スポーツ大会の拡充
- ・ 減塩食の普及促進
- ・ 高齢者の健康づくりの場
- ・ 高齢者、子育て支援施設従事者への賃上げと、スキルアップサポート
- ・ 子育て情報サイト掲示板の充実
- ・ 行政と民間が連携して困難を抱える子どもを支援している
- ・ 地域福祉コーディネーターを各地区に配置する
- ・ 高齢者の交通事故を減らす
- ・ フリースクール、フリースペース等誰でも来られる居場所の整備
- ・ 多様な居場所づくり
- ・ 行政で手いっぱいイベント等をどんどん民間の団体に委託していく
- ・ 制度を横断して個別、地域支援出来るソーシャルワーカー機能をつくる

## Problem

- ・ 医師の高齢化
- ・ 診療科の不足
- ・ 車社会で運動量が低下
- ・ 子どもの食生活環境
- ・ 健康づくりを実施出来る人材不足
- ・ 高齢者ケアの不行き届き
- ・ 福祉の担い手不足
- ・ 子育て情報が届いていない
- ・ 子ども福祉に関する地域資源が少ない
- ・ 地域で子どもを見守る環境への不安
- ・ 免許返納による孤立化
- ・ 子どもの居場所
- ・ 居場所がなくて（少なくても）困っているひとがいる
- ・ ひきこもり対策
- ・ 障がい者の地域参加や地域とのつながりが薄い

# 保健福祉部会

## 基本目標（案）

### ①生きやすく働きがいのあるまち

#### ☆検討背景

福祉というと“子ども”“お年寄り”の話に偏りがちになるが、働く世代も生きやすく働きがいがあるまちであることも必要。

### ②誰もが健幸で自分らしく生きられるまち

#### ☆検討背景

健康で病気に罹らなければ良いではなく、健康寿命を延ばすことにもつながる形にした。

### ③人財豊かで先進的なチャレンジが推奨されるまち

#### ☆検討背景

全てが包括されていなければ、今後政策に落とし込む際に活かされないことを意識した。前例や他でやっていないことを理由に新しいチャレンジが却下されることがないような福祉を進めることとし、この目標を掲げることによって先進的なチャレンジを推奨するまちにする。

### ④世代を超えてすべての“愛”が広がるまち

#### ☆検討背景

高齢者、子ども、あらゆる世代がつながって、福祉としての取り組みになっていくことが望ましい。一人一人が尊重されることを生きやすさにつなげる。“愛”は保健福祉分野の根底につながる大事なこと。

# 教育文化部会

## Try / Keep

- ・市外高校への転出しないよう釜石高校への支援
- ・ICTを活用した学校教育
- ・保、幼、小、中の連携
- ・子どもたちのあいさつ運動
- ・地域内外の大人と子どもが触れ合う機会を増やす
- ・地域住民が先生になる
- ・学校と地域の連携
- ・出身大学生の活躍の場×高校生
- ・自分らしくいられる第3の居場所を各地に
- ・遊びを通じた学び
- ・横の繋がりを担う組織づくり
- ・釜石らしさを生かした教育
- ・北海道、北東北の鉄のまとめ
- ・ラグビーのまちとして子ども達への普及
- ・高校生の就職者が地元希望
- ・スポーツ文化交流

### 学校教育

### 社会教育

### スポーツ文化

## Problem

- ・施設改善、トイレ、バリアフリー
- ・少子化に伴う学校統合
- ・多様性が認められる学校生活
- ・学校が楽しいと思える毎日
- ・優秀な子どもが外に出ていく
- ・子どもが求める内容でキャリア教育
- ・岩大の定員が少ない
- ・若者が定着するための企業が必要
- ・市民参加人材の掘り起こし
- ・子どもたちが体を動かして遊べる場が少ない
- ・社会教育実践者の持続性
- ・各スポーツイベントに統一性がほしい
- ・ラグビーに関心がない
- ・大槌町との壁打破

# 教育文化部会

## 基本目標（案）

地域の人のつながりの中で誰もが育つまち

☆キーワード

社会、地域とのつながり

☆検討背景

教育は学校教育のみならず、生涯教育、文化・スポーツ活動等、大人も子どもの学校活動を通して、また、大人同士の活動を通して、大人になってもずっと学び続けることは可能である。

教育が地域とつながることによって、子どもたちもより豊かに育ち、地元釜石を好きになり、将来的に釜石で過ごすことができる。

# 産業雇用部会

## Try / Keep

- ・釜石全体での人財育成
- ・まちの人事部を作って人財開発
- ・人財への投資額No1
- ・スキル定着のためのスクール、資格取得に向けた支援
- ・公務員の中小企業派遣
- ・新卒へのアプローチ
- ・Uターンに対する交通費
- ・就労に至るまでのフォロー
- ・経営者同士のネットワーク
- ・震災以後つながった人たちとの交流
- ・時短ワーク（ごきんじょぶ）
- ・給与水準の向上
- ・プチ勤務の強化、啓蒙
- ・ママたちがフレキシブルに働ける環境
- ・職場保育
- ・事業者の経営支援
- ・働く人を取り上げる媒体
- ・失敗してもいいチャレンジ

## Problem

- ・人財育成の場が少ない
- ・新たな人財が企業にどっぷりつかっていない
- ・進んで勉強出来る環境がない
- ・あこがれの人が地元にいない
- ・高校生の地域外への流出
- ・横のつながりが少ない
- ・新しい人財を知る機会が少ない
- ・Uターンで戻って働きたい仕事が少ない
- ・給与が低い
- ・正規雇用が少ない
- ・子育てしながら働ける環境
- ・募集はブルーカラー（現場）が多い
- ・求人票で仕事判断されている
- ・何かあるとウワサになりがち

# 産業雇用部会

## 基本目標（案）

人が育ち人財が産業を育てるまち

☆キーワード

海、魚、事業承継、人材、観光

☆検討背景

人材育成と結びついた産業発展の戦略、地場の伝統や素材と結びついた釜石らしい地域産業育成の戦略が必要。

# 生活環境部会

## Try / Keep

- ・二次交通（自転車など）の推進
- ・各世帯を訪問し意向調査
- ・地区内乗合タクシー
- ・公共交通として観光船を出す
- ・自動運転の社会実験
- ・家庭用クリーンエネルギーへの助成
- ・フードロスの削減
- ・あまりもの情報の共有
- ・おすそ分け文化
- ・水の安全を守る
- ・クリーンアップ大作戦
- ・安全な自然の中の遊び場
- ・wifi無料
- ・空き家、空き店舗を資産として利用
- ・空き家を活用した移住定住推進
- ・年配の方のコミュニティ
- ・子どもからお年寄りまで気軽に集まれる場をつくる
- ・ご近所付き合い強化
- ・スマートコミュニティモデル地域

交通

環境

コミュニティ

## Problem

- ・へき地の老人へのインフラ不足
- ・高齢化
- ・三鉄、バスがネットで検索出来ない
- ・ゴミ排出量県内ワースト1
- ・休日釜石から出ていく人が多い
- ・公園が少ない
- ・クリーンアップの参加者層の巻き込み
- ・自治会の運営力不足
- ・コミュニティの硬直化、排他化
- ・コミュニティの分断
- ・ひとり暮らしのお年寄りが多い

# 生活環境部会

## 基本目標（案）

### テクノロジーを活用した 持続可能な住みたくなるまち

#### ☆検討背景

テクノロジーの活用で公共交通などの社会問題を解決するという方向性から、テクノロジーを介して「つながり」をたくさん作り、全世代が住みたくなるまちを目指していきたい。

地域の中でエネルギーを循環させる地産地消の仕組みづくりをする。

# 危機対応部会

## Try / Keep

### 意識

- ・自分が避難
  - ・避難意識の向上
  - ・全市民が自覚を持ち訓練に参加
  - ・釜石市内の学生の防災意識
  - ・防災市民憲章を広める。
- ### 地域の繋がり
- ・町内の啓もう思想を図る
  - ・地域のコミュニティ強化
  - ・要介助者の地域での把握
- ### 防災無線
- ・防災無線の難聴地域を無くす
  - ・防災無線をデジタルに（LINEなど）
- ### マニュアル
- ・全ての課題の洗い出し、見える化
  - ・市の重点項目を具体的、身近な文書にする
- ### 消防
- ・ふるさと納税を町内会or消防団へ
  - ・消防団の新規入団
  - ・パラ運動会×防災
- ### 〇〇 × 防災
- ・キャンプ体験×防災
  - ・スタンプラリー×防災
  - ・楽しく遊ぼう災
  - ・おいしい防災食のふるまい

## Problem

- ・災害は津波だけでなく火災台風もあるという認識
- ・防災意識の低さと避難訓練の参加率の低さ
- ・土砂災害時の避難行動の難しさ
- ・危機意識の地域格差
- ・社会人はつつい仕事優先である
- ・高齢で歩くのがおっくう
- ・情報を知らない
- ・分かりやすい文章の作成
- ・文字だけだと難しいので、絵・写真などの活用
- ・避難場所が浸水する

# 危機対応部会

## 基本目標（案）

- ①みんなが命を守れるまち
- ②ひとりひとりが命を守れるまち
- ③皆が無事で助け合うまち

☆キーワード

災害に強いまち、災害が起きても全員が無事なまち、命の尊さを考えるまち、誰一人残さない、犠牲者ゼロ、自助・公助・共助

☆検討背景

「命が大事」ということをベースに、自分の命を守る自助を大前提として、共助、公助と続く考えを浸透させたい。

# 地域づくり部会

## Try / Keep

- ・ **つながり** ができる仕組み
- ・ 町内会や自治会と連携した新たなコミュニティづくり
- ・ 1ターナー者や転勤族らと地元の人との交流の場づくり
- ・ **つながり** 人口の拡大
- ・ **つながり** 人口の具体的な数字を理解する
- ・ 関係人口への注力
- ・ 次世代とともにつくるまちづくり
- ・ 市内の若者が住み続けられること
- ・ バリアフリー（ハードとハート）
- ・ ユニバーサルツーリズムの推進
- ・ 最期まで暮らせるまち
- ・ 釜石のブランディング
- ・ 小中生の郷土愛の醸成
- ・ **地域** 全体で共有できること
- ・ **地域** 内での内需拡大

## Problem

- ・ 定住に **つながり** づらい
- ・ 賃金が安い
- ・ 家賃が高い
- ・ 住民同士の間人間関係
- ・ 魅力的な就業環境
- ・ 行政に頼りがち
  
- ・ 少子高齢化
- ・ 世代間の交流不足
- ・ 高校の選択肢の少なさ
  
- ・ ハコモノ行政
- ・ 維持費がかかる
- ・ コンセプトなきまちづくり
- ・ 地元のお店が継続できる仕組み
- ・ **地域** としての特色がなくなる

地域  
つながり

若者

誰もが過ごし  
やすい環境

# 地域づくり部会

## 基本目標（案）

未来責任を意識した子どもも含めた  
多世代が一緒につくるまち

### ☆キーワード

未来責任、自分ごと、多様性、LGBT、障がいがある無しに関わらず過ごしやすい、つながり、郷土愛の醸成、バリアフリー、ユニバーサルツーリズム

### ☆検討背景

誰もが過ごしやすい（包摂）まちづくりを推進することで次世代の子ども達もいきいきと過ごしやすいまちになっていく。